



災害看護専門看護師  
井上 ひろみ さん

災害発生時に備え、研修や訓練などを行っています。

## あなたとあなたの大切な人の命と暮らしを守るために

ひとたび災害が発生すると、避難生活の長期化や生活再建に伴うストレスで体調を崩すことが多く見受けられることから、災害発生直後の救護だけでなく被災者の生活にも視点を置いた「災害看護」の必要性が注目されるようになりました。

災害看護専門看護師は、全国で27名おり、人々の命と暮らしを守るため、発災直後から急性期、慢性期、復旧復興期、静穏期にいたるまで、災害の特性を踏まえ時間と共に変化する状況を見極めながら、被災者の心身・生活の支援など幅広く活動します。

実際の現場では、被災者の方の健康管理や専門的治療の調整、精神的ケアを行っています。市立敦賀病院では、医師や検査技師、看護師等で構成する救急蘇生災害医療部会があり、災害対応について意見交換や訓練企画実施などを行っています。

災害に対する意識として、行政からの「公助」はもちろん必要ですが、市民の皆様一人ひとりが静穏期である日頃から、防災に対する意識を持ち自ら取り組む「自助」、地域で協力して取り組む「共助」が重要になります。

災害看護専門看護師として、防災士会や敦賀市立看護大学、敦賀市と連携・協働し、市民の方々と共に、命を守るための活動をしていきたいと思います。

### ▼病院災害対策本部訓練の様子



### ▼実際の避難所の風景 (運動をしている様子)



## まちの宝を発見!

# つるが歴史遺産



明治～大正時代の村の様子を伝える貴重な地域資料です。

案内人 学芸員 藤本 悠希

例えば、「粟野村村是」では1902年(明治35年)当時の村内の人口が4462人であることが報告されています。また、「東浦村村是」では、「柑橘ハ本村副産物中第一位ヲ占ムルト雖モ其生産地ハ大字阿曾元比田ノ二区ニシテ大字五幡大比田横浜等ノ如キモ栽培ヲ為スト雖モ一少部分ニ過キズ(中略)全村ヲ通セバ発展ノ余地未ダ多キヲ以テ此等ノ地ニ栽培スルニ至ラハ将来一層生産額ヲ増大ナラシムルコトヲ得」と記され、新たな地での柑橘類の栽培を促しています。このように、村の実態に基づいて将来の目標を定めていた村是ですが、村是に書かれていた計画が、実際にどれほど達成されていたかは、はっきりとは分かりません。

村是は、当時そこに住んでいた人々の暮らしぶりや村の様子が見えてくる、貴重な地域資料です。

## 敦賀の村の振興計画

みなさん、「国是」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。「国是」とは国民が認めた国の政策の大まかな方向性や方針のことです。一方、今回取り上げる「村是」とは、

## 村是



▲福井県敦賀郡愛発村村是 [1911(明治44)年2月]

### 広報担当者のつぶやき

8月の大雨で、地元の南越前町今庄が被害に遭いました。実家のある地域は一時孤立状態になったものの、幸いにも住居や家族に被害はありませんでした。これから台風シーズンが始まります。ご自身の避難先や避難の際の持ち物、ご自宅の備蓄など、防災について再確認しましょう。(T)

先日、健康診断の結果が返ってきました。基本的には健康的との判定だったのですが、「γ-GTP」という項目だけが抜けて悪い数値でした。聞きなれない言葉だったので調べてみると、お酒の飲みすぎで肝臓が悪くなるとこの数値が上がるとのこと。体に気をつけようと、その晩のお酒は1本減らしました。(M)